

パブリックコメント実施結果

本計画を作成するにあたり、広く皆さんから意見を求めるためパブリックコメントを実施しました。

実施の結果は下記のとおりです。貴重なご意見をお寄せいただきましてありがとうございます。計画作成及び今後の事業推進の参考にさせていただきます。

・実施期間 令和3年12月8日～令和4年1月7日

・提出意見数 1件(1名)

実施結果

No.	提出された意見の内容	意思決定	意見に対する町の考え方
1	<p>交通事故の現場、違反現場等で良く耳にするのは、相手がどうのこの、周りがどうこう、とは言うが、自分が悪かったという人はほとんどいない、何故なんだろう。私が、事故現場に出動したときは、あなたや、相手がそこに居たからと答える様になっている。1秒でも、タイミングがずれていたら、事故や、違反にはならない、この時は多分安全運転してよかったと思うはず、渋滞に巻き込まれた時もそう、自分がそこに居る事を忘れてるから腹も立つ、自分がいなければ、渋滞とは思わないのだから。運転は偶然に対処する力、30km/Hスピードが40km/Hになっただけで、毎秒2.8mも進む距離が違う、そのことを理解している人は、街中でスピード違反なんかしない、横断歩道を無視する事も無い。</p> <p>警察、安協の立哨(広範囲でお願いしたい)、警ら、店舗立ち寄り、等姿を見せておくだけで、抑止力になっている。警察官の人員不足は理解できるが、拡大をお願いしたい、また注意を促してほしい(ドライバー、歩行者に対して)、違反者を捕まえる事も大事だが普段から、気が付いた事はしっかりと注意して頂きたい。昔の警察官は良く注意をしていたように思うが。</p> <p>最近よく言われるのが、「何もしないのにこの車80km出るのや」知らずにアクセルを踏んでいるだけ、メーターも見えていない、周りの車と同じに走っているだけ、特に高齢者は周りに流される運転をしやすい、免許を取ったころの法規と今の法規は違う事を意識していない。</p> <p>分析データは、事故だけでなく、違反のデータも出すべき、年齢、性別、乗り物種類、違反の内容、等、重大事故の後のドライバーの追跡調査の実施、飲酒運転は特に、処罰で終わりではない。</p> <p>高齢者ドライバーの講習(有料で2年に1回)貸出しドラレコを使った分析、指導</p> <p>農繁期における違反、一時不停止、スピード違反、過積載、農道ならまだしも、公道ではやめて、一般ドライバー含めて、交差点等で停止ラインは、守られていない。</p> <p>町は国、県の策定をそのままののではなく、町の独自性を出して頂き、企業、役場、町内会、町民で共有できる事業を提案頂きたい。</p> <p>10月以降の午後4時すぎのライト(スモールライトではない)点灯、特に運送業の協力をお願いしたい。</p> <p>年度初めに、学区ごとの、危険箇所調査に合わせて、スピードの出やすい所、見通しの悪い場所、横断歩道が見えにくい、生活道路の危険箇所、事故しやすく感じる場所等、町内会の危険箇所のチェックをお願いしたい。特に通学路での、(スクールゾーン時間に入ってくる、スピードを落とさない、横断歩道が見えにくい、自転車が多い、水たまりがでやすい、飛び出しが多い、暗い等一人一人が気付いた事)を各自自治会より、報告頂き、町として危険箇所を設定。注意喚起する。安全は、すべての、町民一人一人の心がけ、ドライバー、歩行者も余裕を持って行動して頂きたい。</p>	<p>案のとおりとします。</p>	<p>庄内警察署と庄内地区交通安全協会は、主要交差点での立哨指導を行うなど、計画的に交通安全の推進を図っています。</p> <p>違反データの分析は交通違反の取り締まりに役立つとは思いますが、本計画の目的は交通違反を取り締まるためではなく、事故を未然に防ぎ交通安全の推進を図っていくための基本的な方針を定めるものであり、事故のデータは近年にどのような交通死亡事故があったかと事故件数等を示すために掲載しています。なお、飲酒運転の検挙状況については、山形県警のホームページに掲載しています。</p> <p>70歳以上の高齢者ドライバーは、運転免許証の更新前に必ず「高齢者講習」を受講することになっています。また、交通違反のあった75歳以上の方は随時「臨時の高齢者講習」を受講することになっています。その結果に応じて対応を変えているとことで効果は大きいと考えます。「貸出しドラレコを使った分析、指導」については、県内の各警察署に貸出用のドライブレコーダーが配備されており、運転に不安のある高齢者及びその家族からの要望に応じて貸出しています。その結果に応じて警察官が映像をみながら指導を行っています。</p> <p>本計画は、県の変更点のうち町でも取り組める方針について取り入れています。また、町独自の方針として、運転免許証自主返納支援事業を継続して実施することにより、高齢ドライバーが加害者となる交通事故の減少を目指します。このことは計画7ページに記載しています。本計画に基づいた事業の実施については、関係機関と連携を図りながら実施していきます。</p> <p>ライトの早め点灯やハイビームの積極的な活用については、有効な方法であるため継続して推進していきます。計画の7ページに記載しています。</p> <p>教育課学校教育係が、自治会や町の関係各課、庄内警察署、関係機関とともに定期的に通学路合同点検を行って、危険箇所の改善を図っています。また、庄内警察署でも交通事故マップを作成して、公民館等の人の集まる所に配布して注意喚起を行っています。今後とも交通安全の推進と啓発活動を継続して実施していきます。</p>